国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構

ミライをキリトル Will

女性が輝く福島研究開発部門

日本原子力研究開発機構福島研究開発部門では、
東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所（1F）の廃止措置と、
ふくしまの環境回復と住民の早期帰還に向けた研究開発に取り組んでいます。

女性職員のイマをキリトル

福島研究開発部門若手女性職員の紹介

福島事業管理部総務課
いわき事務所勤務　H26年度入社

三浦　佳奈

総務課では、福島拠点の事務所管理、視察対応、広報関係等の業務を行っています。
各センターや1Fの見学会、地元自治体主催のイベント等にも携われる為、復興の現状を自分の目で確かめることが出来ます。
福島拠点のパイプ役となり、職員同士や地域の方々との繋がりを大切にしたいと思っています。

異動先によって、普段足を運ばない場所へ行けるようになるので、
休日はカメラ片手にお出かけします。

廃炉環境国際共同研究センター環境動態研究Gr
福島県環境創造センター研究棟勤務　H29年度入社

伊藤　聡美

森林内調査で見つけた食用きのこ
きのこの写真撮影は森林調査の楽しみです。

環境動態研究Grでは、環境中に放出された放射性物質の移動挙動解明についての研究開発を行っています。その中で私は、森林生態系内での循環挙動の解明に向けて森林内で樹木や土壌の調査、実験室で菌類の調査等を行っています。福島県や国立環境研究所など様々な専門家と意見を交換しつつ、福島県の環境回復につながる調査研究を実施しています。

Q&A

Q1.どのような人材を求めていますか？

A1.自立した責任感のある方、課題設定と解決までの論理的思考に長けた方、協調性・コミュニケーション能力のある方を求めています。

Q2.原子力分野以外の学部でも応募できますか？

A2.原子力の研究開発は、様々な自然科学の知見を結集して行う総合的な科学技術分野です。原子力分野以外の学部・学科で学んだ方々にも活躍の場があり、幅広く採用をしています。

Q3.理系でも事務職に応募できますか？

A3.応募いただけます。一般的な事務業務の他に、研究協力に係る業務、現場のサポートを行う事務等の業務があります。

Q4.人事異動・転勤はありますか？

A4.研究・技術職の方は、あまり人事異動はありませんが、事務職の方は、2～3年毎に異動があります。

Q5.事業所（国内）はどこにありますか？

A5.茨城県を中心に、北海道、青森県、福島県、福井県、岐阜県、岡山県に事業所があります。

Q6.海外で仕事をするチャンスはありますか？

A6.現在約40名の職員が海外で活躍しています。原子力留学制度等による海外留学、海外事務所や国際機関での勤務等があります。

大熊分析・研究センター分析課
大熊分析・研究センター勤務　H29年度入社

村上　絵理奈

大熊分析・研究センター第１棟の運用開始に向けた設備関係のマニュアル整備や模擬のグローブボックスや鉄セルを用いた訓練の計画・実施をする業務に携わっています。 第1棟で実施する作業の安全を確保するためには必要不可欠な業務であると同時に、自分自身の分析設備の取扱い技術の上達、安全に対する意識の向上にもつ ながるのでとてもやりがいを感じています。

休日は温泉巡りなどをして
ゆったりと過ごしています。

廃炉環境国際共同研究センター試験技術開発Gr
原子力科学研究所勤務　H25年度入社

須藤　彩子

チェコで有名なPork knee
美味しい料理も海外出張の醍醐味です。

1F事故で発生した「燃料デブリ」の性状を把握する研究を行っています。
廃炉センターでは海外の研究機関と連携する機会が多く、私はチェコの研究機関と「模擬デブリ」作製に関する共同研究を行っています。海外の研究者と議論しながら仕事を進めていくことで、自分の視野がどんどん広がっていくのが実感できます。

大熊分析・研究センター分析課
大熊分析・研究センター勤務　H30年度入社

伊藤　千尋

分析課では、大熊分析・研究センター第1棟の運用に向けて、分析方法の簡易・迅速化に係る技術開発やマニュアルの整備を行っています。福島第一原子力発電所の廃止措置を進める上で、より信頼できる分析データを提供するために、機構内外の協力を得ながら業務に取り組んでいます。

愛用のバドミントングッズ
機構には様々な部活動やサークルがあるので
勤務後や休日も充実しています。

Q7.資格取得の機会はありますか？

A7. 職場で必要とされている資格については、公費による受験が可能であり、模擬試験等支援が行われているものもあります。

Q8.寮・社宅はありますか？

A8.各研究開発拠点（事業所）の付近に独身寮、家族用宿舎等を完備しています。

Q9.休日、休暇の制度を教えてください。

A9.土日祝日、年末年始、年次有給休暇、介護・育児休暇等の休暇制度を導入しており、仕事と生活の両立ができる働きやすい職場環境を整備しています。

Q10. 女性職員の活躍について教えてください。

A10.男女の区別なく、各人の能力・適性に応じた活躍の場があり、グループリーダーとして活躍する方や海外事務所で活躍する方もいます。

Q11. 出産後も復帰して活躍している方はいますか？

A11. 研究職・技術職・事務職の職種及び勤務地に係わらず、多くの女性職員が復帰後も活躍しています。

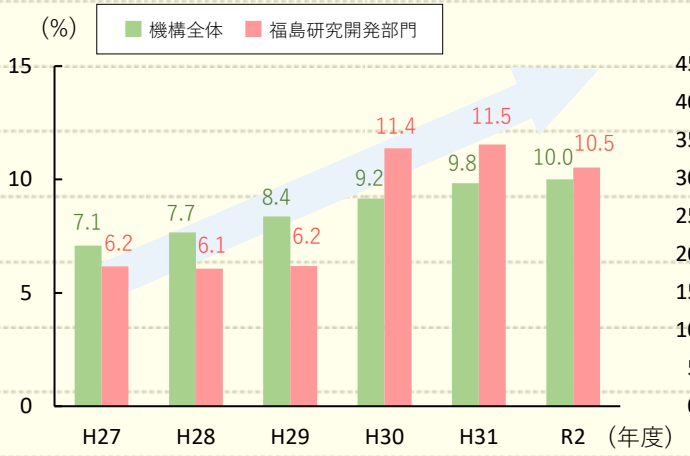
Q12. 女性が働きやすい環境は整っていますか？

A12. 女性職員を対象としたメンター制度を導入しております。その他、管理職層に対して男女共同参画の理解促進を図る為の研修を行い、制度等を利用しやすい職場作りに努めています。

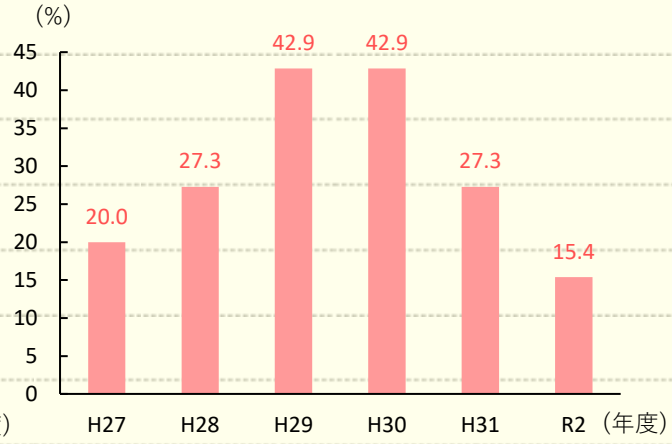
データで見る福島研究開発部門の女性職員

※H27に福島研究開発部門発足。

◆女性職員の割合



◆女性職員の採用状況（採用率）



機構全体で女性の活躍できる場が増えています。

女性の働き方を支援する制度一覧（抜粋）

※１無給（雇用保険による給付制度あり）
※２勤務しない時間について給与を減額　※３有給

育児休業 ※1

子を養育するため、一定期間休業することを認める制度
◇期　間：子が３歳に達するまで

部分休業 ※2

子の養育又は配偶者、父母等を介護するため、１日の勤務時間の一部を勤務しないことが出来る制度
◇期　間：子が小学校３年生の就学の始期に達するまで又は介護を必要とする一の継続する状態ごとに通算３年間を超えない範囲で３回まで
（通常の勤務時間の初め又は終わりに、１日を通じて２時間（30分単位）を超えない範囲）

産前休暇 ※3

６週間以内（多胎妊娠の場合には14週間）に出産予定の女性職員に与えられる休暇
◇期　間：産前６週間（多胎妊娠の場合には14週間）前から出産の前日まで

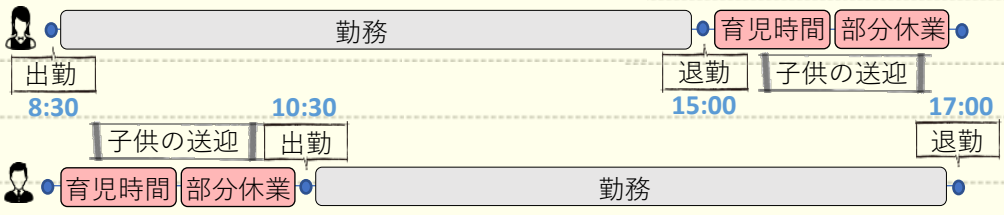
産後休暇 ※3

出産した女性職員に与えられる休暇
◇期　間：出産の翌日から８週間

育児時間 ※3

生後１年未満の子を養育する職員が授乳や託児所等への送迎を行うために与えられる休暇
◇期　間：子が１歳に達するまで（１日２回それぞれ30分以内）

フレックスタイム勤務

小学校３年生就学の始期に達するまでの子を養育する職員又は配偶者・父母・子等を介護する職員に以下の時間帯から諸君の裁量に応じて始業・終業時間を設定し勤務することを認める制度
〇始業時間 7:00~11:00　〇終業時間 14:00~22:00
〇コアタイム 11:00~14:00(３時間)　〇休憩時間 12:00~13:00
◇期　間：子が小学校３年生の始期に達するまで又は介護を必要とする間

制度の利用例
保育園への送迎分担